

## 市道3259号線山手台北公園前事故多発の件

市道3259号線(通称ケヤキ道路)の山手台北公園前は新名神宝塚北スマートインター開設後、通行量が増え、この場所でのトラックの横転、乗用車の転覆、車の歩道への飛び込み横転等、事故多発道路になっています。

山本山手地区まちづくり計画にも地域の防犯、安全対策計画に取上げ、昨年度は山本山手地区まちづくり協議会(通称山本山手コミュニティ)が中心となって、行政との対策検討協議を進め、「事故多し速度落とせ」の看板取付、路面に速度落とせの文字記載を頂きましたが、事故が減るところか増えて来ています。

山本山手コミュニティからは行政に宝塚警察と共同し、事故情報の分析を行ない効果ある対策実施を求めていますが、進みませんので、大川市議会議員に9月市議会での一般質問事項として取上げて頂き質問頂きました。

\* 市議会中継は下記URLの大川裕之市議を再生頂ければ見れます。

[https://smart.discussvision.net/smart/tenant/takarazuka/WebView/rd/schedule.html?year=2022&council\\_id=49&schedule\\_id=4](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/takarazuka/WebView/rd/schedule.html?year=2022&council_id=49&schedule_id=4)

大川市議質問の概要と行政回答要旨は下記

### 【大川市議質問】

宝塚市では、第11次宝塚市交通安全計画の基本方針で交通事故が市道で多発した場合、どの様に取り組むのか。

### 【都市安全部池澤部長回答】

#### \* 交通事故とは人身事故を言う

\* 幹線道路での事故多発地帯は、危険箇所として指定しているが、宝塚市が幹線道路としていても国・県は国道・県道のみを幹線道路としており、宝塚市では176号線の中筋1丁目交差点の1か所が指定されているが、山手台のこの場所は事故多発幹線道路箇所とはしていない。

今回山手台けやき道路(市道3259号線)については

2020年 3件

2021年 8件

2022年 5件(8月まで)1件(9月)

の発生件数が警察から市に連絡があった

但しこれらの数は道路施設に損傷があった、道路構造物(ガードレール等)に被害を与えた件数

今後の3259号線の対応については、舗装の劣化が交通事故の助長する事のないよう、滑りにくい素材で300メートルにわたり舗装をし直す

速度の超過事故を抑制する、減速を促すラインを今年度中に行うことになった

が、あくまでもこの対策はボロボロになった老朽化した道路の改善である

### 【大川市議】

大きな人身事故が発生してもおかしくない場所であり、なぜ事故が多発するのか(事故原因)を分析し継続的対策をお願いしたい

また、このけやき道路問題については、まちづくり計画にも掲げているので、まちづくり協議会とも協議を続ける様お願いします。

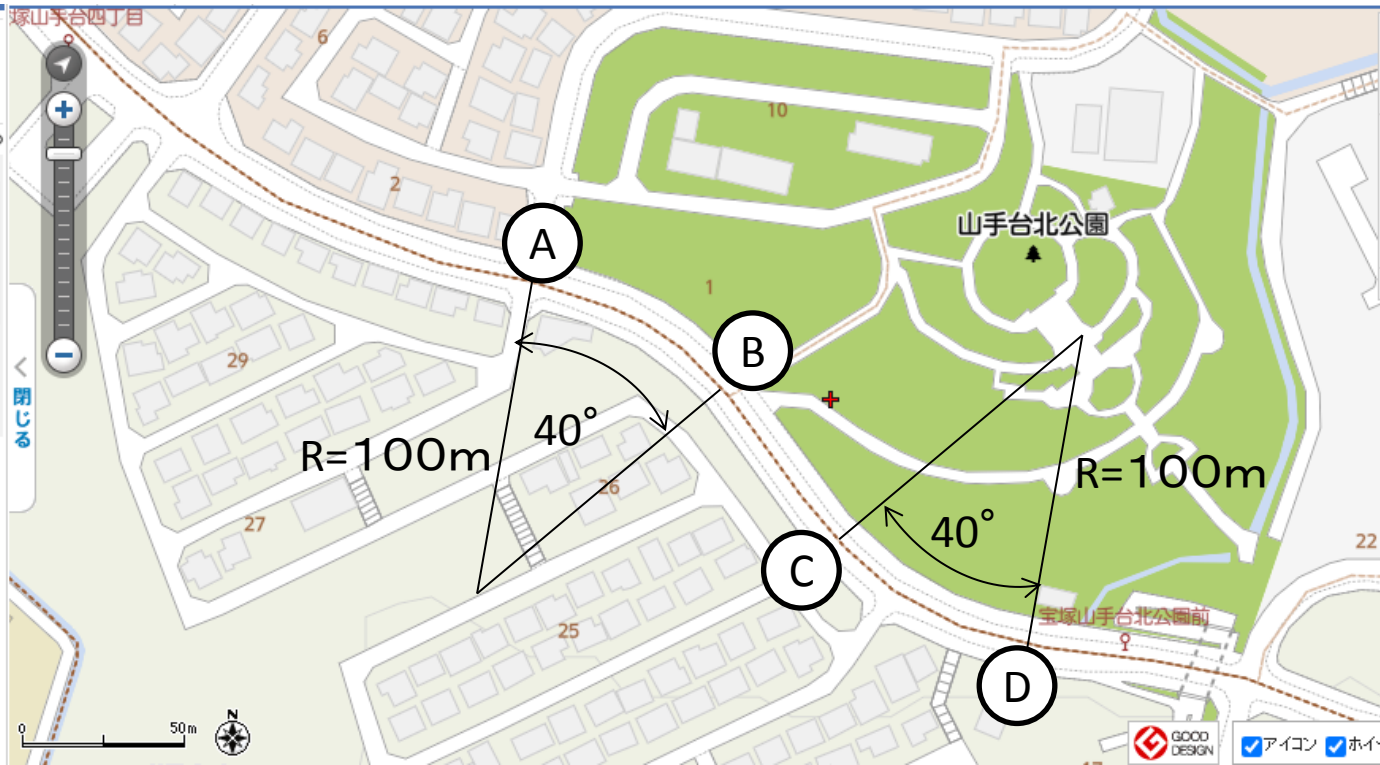


## 事故現場分析

1. 南行に100mRのS字カーブで傾斜が10%と急傾斜道になっている。
2. 逆バンク(0度~2度)になっており、遠心力で車線外へ放り出されやすい道路。
3. 制限速度は40km/hとされているが、長尾トンネル南口交差点までは制限速度50km/hで、交差点を曲がって直ぐに(6m程)40km/hの看板があるが見え辛く、しかも下り傾斜の道路でブレーキを掛けなければ直ぐに制限速度オーバーになる。
4. 雨の日の事故が多い

## 検討必要事項

1. 制限速度を守らせる工夫(道路に40の文字、速度監視中の看板etc)
2. 道路を滑りにくい舗装にやり替え
3. 逆バンクを無くす舗装



	標高	標高差	2点間距離	斜度
A	218.4m			
B	211.8m	6.6m	68.5m	約5.5° (9.7%)
C	206.1m	5.7m	56m	約6° (10.2%)
D	201.5m	4.6m	71.2m	約4° (6.6%)

2022年10月15日  
山本山手コミュニティ